

令和3年度  
矢板市学校支援  
ボランティア  
講座通信



## できることから

第5回 ミシンを操作しよう  
～トートバッグ作りを通して～

できる喜びと楽しさ！

子どもたちに感じさせるには？

矢板市の小学校では、5・6年生の家庭科の授業でミシン操作の見守り、補助を行うボランティアが活躍しています。近年、ますます需要が高まり、ボランティアの育成はとても重要になっています。

第5回の矢板市学校支援ボランティア講座では、片岡小学校のランチルームをお借りして、実際にミシンを1人1台操作しました。小学6年生が作ることの多いトートバッグを作る活動を通して、できる喜びや楽しさを味わうこと、うまく進まなくて困るのはどんな時か、子どもの立場に立って感じることを重視しました。そこからボランティアとしてどのようなサポートが必要か考え、視野を広げることにつながる学びの場になったようです。

### ミシンの基本操作に慣れる



まず、ミシンの基本操作に慣れるため、次の2つを行いました。

- ① 上糸と下糸を通す
- ② 試し縫いする

創年大学ぶらぶらクラブの皆さんに丁寧にご指導いただきながら慣れないミシンに戸惑いながらも徐々に操作に慣れていきました。

### トートバッグを作る！

基本操作に慣れたところで、トートバッグ作りに！

子どもたちが作る手順で実際に作ってみました。ミシンをほとんど触ったことのない方も普段から使われている方も、皆と同じものを皆で作る「楽しさ」やできる「喜び」を味わいながら進められたことが何より大きな収穫でした。



第6回もミシン操作。トートバッグを完成させる予定です。学ぶ楽しさを味わえる素晴らしい受講生のみなさんが、第7回でいよいよミシンボランティアの実習に！楽しい時間になりそうな予感です。

## 第5回 みなさんの声 どーんと紹介

子どもたちが友達と同じ物を作る楽しさが分かりました。教える側になった時に、どのように対応したらわかりやすく説明できるか考えながら作ることができました。



初心に戻り子どもたちの視点で学ぶことができてよかったです。とても楽しんでできました。ボランティアの皆さんからわかりやすいアドバイスもいただき、ありがたいなと感じました。貴重な体験ありがとうございました。

子どもの視点でトートバッグ作りができました。コンセントの入りがうまく入ってなくて、ミシンが動かないなど些細なトラブルにも気づくことができて、今後のミシンボランティアに生かせそうです。菅藤さん、布のご提供ありがとうございました。



ミシンは家にもあるので、多少は使えるつもりでいましたが、学校のミシンには不慣れで使い方が分からないところもたくさんありました。初めてミシンにふれる子どもたちが楽しく作れるようにサポートできたらいいなと思いました。物を作ることが楽しいと思ってもらえるといいなと思いました。



昔のミシンと違うこと、説明があつてよかった。自動操作は難しい。全体的に楽しかった。とっても！！

ミシンの操作はそのミシンによって違うので最初の確認が大切だと思いました。子どもたちに教えるのにバッグの作り方を一つ一つ確認し、わかりやすく教えていく難しさがあると思いました。

久しぶりに糸を通したり、ポピンを使ったり、やり方を全く忘れていました。教える立場には不安がよぎります。ミシンの使い方、布の手順等理解するのもあたふたしそうです。子どもの目線、子どものやり方を見てあげられるようにしたいです。



自分で洋裁をする時と、教えながら作るのではなかなか思うようにはいかないと思いました。ある程度進め方について話し合い、準備も少ししておいた方がよかったかなと思いました。

ミシンの操作方法はわかったが、作るとなると難しい。



小学校の時にミシンを習った時以来、ミシンを操作したので最初は戸惑いましたが、少しずつ慣れてきて作業ができるようになりました。今後は少しずつ慣れるように努力していきたいです。

ミシンを触るのが10年ぶりぐらいで操作に戸惑ってしまいました。トートバッグ、簡単にできると思っていましたが、細かい手順があつて意外と難しく手間取ってしまいました。慣れも必要だと思います。